

事例3：止められない自治体、公共向けネットワークの電源対策

目的	電源障害などでも、重要な通信を停止できないネットワークシステムを守る ①メインスイッチ ②フロアスイッチ ③盤内収容
構成	
<div style="background-color: #008000; color: white; text-align: center; padding: 5px;">困りごと</div> <ul style="list-style-type: none"> • HUBラックや配電盤、キャビネットに設置できるUPSがない • 電源障害でネットワーク機器がダウン、業務継続ができなくなる • ネットワーク機器の排熱で、設置場所が高温になり、従来の鉛バッテリーは早期劣化し、メンテ頻度が増加、工数も費用もかかる • 機器がフリーズした場合、電源OFF/ONで復旧できるが作業員を現地まで派遣する必要があり、早期復旧できない 	<div style="background-color: #ff0000; color: white; text-align: center; padding: 5px;">期待される改善</div> <ul style="list-style-type: none"> • 1Uサイズの薄型軽量で設置スペースに困らない • 耐環境仕様で設置環境の影響を軽減 • ネットワーク経由で遠隔監視と管理ができる • 自動死活監視+レポートで復旧時間と作業費を削減できる • ラック/壁/天面/床固定など場所に応じて設置形態を選べる • リチウムバッテリーでメンテナンス頻度を軽減できる